



令和 8年 5月 29日

🏠 だより 6月号

江戸川区立新堀小学校

校長 地平 憲司

<http://edogawa.schoolweb.ne.jp/niihori-e/>

薫風と瑞雨の季節 一步前へ進む六月に！

校長 地平 憲司



毎朝、子供たちを迎える校庭に面した職員室前階段横の紫陽花(あじさい)が色づき始めました。日増しに深まる緑の中に、淡いブルーやピンク、紫の花びらが顔を出す様子は、何とも言えず趣深いものです。季節は確実に初夏へと移ろい、植物たちが雨の恵みをたっぷりと吸い込み、力強く成長する時期となりました。私たち人間にとっても、この時期は心身を整え、次なる飛躍の準備をする大切な季節です。

さて、六月は一年の中でも「雨季」という独特の季節を迎えます。しとしとと降る雨に、つい気分が沈んでしまうこともあるかもしれませんが、しかし、雨は万物を育む大切なエネルギーでもあります。学校生活においても、外で思い切り体を動かさない分、落ち着いて読書をしたり、友達と対話したり、自分の内面を見つめ直したりする絶好の機会です。

校長室から、そして各階の教室から、校庭の様子はとてもよく見えます。また、本校校庭の特徴として、降り注ぐ雨も瞬く間に乾くことに驚かされます。そんな「雨模様」を眺めつつ、子供たちに雨の日は、心に「静」を取り入れ、自分を磨く「充電期間」と捉えさせたいと思います。外で遊べない残念な気持ちや少しだけ抑えて、穏やかな雨音に耳を傾けながら、心静かに学びに向かう時間は、きっと子供たち一人ひとりの感性を豊かにしてくれるはずですよ。

一学期も中盤を迎えました。四月に新しい学年や学級でスタートを切った緊張感も少し和らぎ、子供たちの中に「安定」と「慣れ」が生まれる時期です。この時期にこそ意識したいのが、家庭学習の習慣化です。「毎日決まった時間に机に向かう」という小さな積み重ねは、学力向上の土台となるだけでなく、自分を律する強い心を育みます。六月中旬には、「ドリルパークを活用したスタディウィーク」も実施しますが、それ以外にも、少しだけ興味のあることを調べたり、読書に挑戦したりする時間を是非作ってほしいと思っています。保護者の皆様には、子供たちの日々の学習の様子に温かい眼差しを向け、「頑張っているね！」の一言をかけていただければ幸いです。その何気ない称賛が、子供たちの大きなやる気へと繋がります。

いよいよ目前に迫った運動会(六月六日)に向け、準備も本格化しています。今年も例年以上の暑さが予想されますが、そんな中、心強いご支援をいただいております。子供たちの健康と安全を守るため、この度、PTAの皆様のご尽力により、新しいテントを購入していただきました。また、他校からのテントの搬入・設営には、例年「お父さんの会」の皆様にも力強いサポートをしていただいております。保護者の皆様のごこうした多大なるご協力は、子供たちの安心・安全な活動を支える何よりの礎となります。心より感謝申し上げます。私たち教職員も、子供たちが最高のパフォーマンスを発揮・披露できるよう万全の体制で臨む所存です。(・・・天気のお神様にも手を合わせてお願いしています。)

雨の日は、雨の日の美しさがあります。子供たちが、移ろう季節を感じながら、日々の学習や行事に一步ずつ着実に取り組んでいけるよう、学校と家庭が手を取り合ってみ守っていきましょう。六月の色鮮やかな紫陽花のように、子供たちがそれぞれの色で、健やかに輝くことを願っております。